

平成 17 年 12 月 5 日

土木学会コンクリート委員会  
平成 17 年度 第 3 回規準関連小委員会 議事録

1. 日時：平成 17 年 12 月 2 日（金）15：00～17：30
2. 場所：土木学会 EF 会議室
3. 出席者（敬称略）：  
橋本親典委員長，鎌田敏郎幹事長，伊藤康司，上野敦，梅沢健一，江口和雄，小川洋二，  
酒井修平，黒井登起雄，新藤竹文，杉山隆文，中村雅之，久田真，三谷芳弘，  
森濱和正，寺村悟（記録）
4. 配布資料
  - 3-0 平成 17 年度 第 3 回規準関連小委員会 議事次第
  - 3-1 平成 17 年度 第 2 回規準関連小委員会 議事録(案)
  - 3-2 硬化したコンクリートからの微量成分溶出試験方法（案）
  - 3-3-1 土木学会基準「EPMA 法によるコンクリート中の元素の面分析方法（案）  
（JSCE-G574-2005）」
  - 3-3-2 制定年月日:平成 17 年 9 月 名称:「EPMA 法によるコンクリート中の元素の面分  
析方法（案）」
  - 3-4 2002 年度制定 コンクリート標準示方書「規準編」 5.高炉スラグ微粉末の混入率お  
よび置換率試験方法(JSCE-D 501-1999)に関する問い合わせについて」
  - 3-5 コンクリート標準示方書 2005 年制定[規準編]改定資料（案）
5. 議事
  - (1) 委員長挨拶および前回議事録(案)の確認
    - 1) 委員長挨拶  
本委員会は常に活動が必要であり、本年度はあと 1 回程度開催し，HP の改訂や新  
規準の審議を進めていく。各委員のご協力を望む。
    - 2) 記事録案の確認
      - ・ 5. 議事（3）5)規準部会の 3 行目「～体系化したい。」を訂正する。
      - ・ 5.（8）3 行目 梅沢委員の所属名は，(株)ポゾリス物産とする。
  - (2) コンクリート常任委員会からの報告および委員の交代
    - 1) 常任委員会（11 月 7 日）報告
      - ・ 前回審議された EPMA 法は承認され，規準化する。
      - ・ 次回の常任委員会（12/15）では，資料 3-2 の微量成分試験方法を報告し審議する  
こととしている。

## 2)委員の交代

- ・日本高速道路公団 長田委員から中日本高速道路(株)中央研究所 酒井委員に交代.

## (3)資料 3-2 の審議

- ・p5 以降に[解説]を追記し,未記入であった表 7,表 9 中のコンクリート data を記入(但し,表 9 の“ふっ素”項目のみ data 整理中で後日記載する)したとの説明がなされた.
- ・p5 下線部 1 行目「材料の違い(例えば,細骨材)~」を「セメント(結合材)以外の材料の違い(例えば,骨材)~」に訂正する.
- ・p5 下線部 1 行目「他の材料は~」を「溶出が懸念される以外の材料は~」に訂正する.
- ・本文中の試験体寸法の単位をすべて「mm」で標記する.
- ・p3 注<sup>(10)</sup>の「本」を「個」に訂正する.
- ・本文中に概要図の挿入の可否を検討する.
- ・以上の訂正および表 9 の空白欄を記入した資料を用い,12/15 の常任委員会で説明する.
- ・12/15 常任委員会説明後の修正対応を行い,06/3/7 の常任委員会に対比表を添付して説明する.
- ・前委員会で本件は説明されており,本資料番号は JSCE-G575 となる.

## (4)新しい土木学会規準に関する講習会の開催について

- ・資料 3-3-1 は,9 月の常任委員会で承認され,論文掲載される予定.
- ・表題(案)「硬化したコンクリートのナノテクノロジーを拓く新しい土木学会規準に関する講習会 - EPMA 法による面分析方法と微量成分溶出試験方法 - 」として,来年度 4 月 21 日(場所:土木学会講堂)で開催予定.
- ・講習会は,試験方法の解説と実験例を主に説明.資料 3-2 微量成分試験の技術シリーズを前提とした概要版を作成する.
- ・資料 3-2 微量成分試験方法と環境庁公示の試験方法との測定値の差の関連を,前報告のライブラリー(2003)を基に利用方法を明確にしておく.
- ・規準原案は,微量成分関連規制等を含めて年明けに WG を開催し検討する.
- ・本講習会では,最近話題となる“アスベスト規準”関係と併せて講演を行うか,講演主旨や内容等を確認して協議する.
- ・講演対象の 2 項目の新試験方法のみの講演内容の場合は,半日の日程で開催する.
- ・講師の人は,委員長が行う.

## (5)資料 3-3-1 および資料 3-3-2 の審議

### 1)資料 3-3-1 (p1-2) の審議

- ・p1 の 5 行目委員会名「コンクリート委員会・規準関連小委員会」に訂正する.

### 2)資料 3-3-2 の審議

- ・掲載の図の題名や掲載意図などを明確にする.

## (6)ホームページ(HP)WG

- ・HP に掲載する data を収集中であり,現段階で資料は,事務関係 70%,概要イメージ

が 30%程度の収集状況 .

- ・ HP は , 本年 12/31 から掲載開始する .
- ・ HP 上で規準に関する「質問受付け欄」を設けるか HP-WG で検討する .

(7) 資料 3-4 ( JSCE-D501-1999 ) の審議

- ・ 本試験方法に対する土木学会への質問から , 以下の点についての改訂の審議が必要となった .

「試験に用いるフルオロカーボン系メンブランフィルターは , 試験実施の加熱 ( 850 ± 50 ) 過程で , 475 以上となると有毒ガス ( パーフルオロイソブチレン ) が発生する .

また , 本フィルターは「焼却不可」(MSDS に記載) であるため , 本試験方法で当該フィルターを用いる方法を指定することが適正か? .」

- ・ 本方法の表 1 の 7.2.1 を削除してよいか , 試験方法に不足は生じないかについて、試験方法の存続を常任委員会で確認する .
- ・ 本方法の表 1 の 7.2.1 を削除した場合の修正案を作成する .
- ・ 本試験方法の改訂については , 論文集への改訂程度とし , 試験に関連するセメントメーカー等へ連絡することとなる .

(8) 資料 3-5 について

- ・ 資料中の表 2 を追記した . 完成資料を WG の各委員に配布する .
- ・ 資料に対する意見は , 委員長宛行う .
- ・ 本資料は HP に掲載する予定 .

6 . 次回委員会

日時 : 平成 18 年 3 月 28 日 ( 火 ) 15 : 00 ~ 17 : 00

場所 : 土木学会会議室 ( 予定 )

以上